

学校関係者評価委員会報告書

開催日時 令和7年6月13日(金) 16:00～17:00

開催場所 本校教室

出席者 学校関係者評価委員

小西弘記(委員長) 飯田鉄平 由地夏実 庄子美波

本校教職員

小野道子 榎本浩樹 小塚弘明

委員会の経過及び内容

定刻、出席者を確認のうえ所定の定数を満たしていることを確認し、本校職員が令和6年度自己評価の結果について説明があり評価に入る。

① 教育理念目的・目標

本校では、理美容業界に出た時に生かせる技術と資格だけではない生き抜く力を育てることを教育方針として指導している。

技術だけでなく、接客、就職してからのコミュニケーションの取り方など理美容師として社会人として必要なことを今後とも指導していただきたい。

② 教育課程、教育の実施・学修成果

理美容師の国家資格取得に向けた指導体制、実践的なカリキュラム等が充実しており、このまま継続していただきたい。

美容師希望以外の学生に対しても放課後のアカデミーを開催しエステやネイル、ヘアメイク等トータルビューティーを学べるようになっており美容室以外への就職者も増えており良い傾向だと思う。

③ 学生の受入、学生支援

就職率は、専門課程美容科100% 国家試験合格率89%という結果になった。

合格率は、少しだけ下がったが100%を目指して頑張ってもらいたい。

また、退学率は6.9%となり去年に比べて退学者は、2.5%ほど下がっており退学者0人を目指して生徒指導等に力を入れてもらいたい。合格率100%は、難しいかもしれないが目標は高く設定し指導方法の見直しが急務である。

また、退学率もこの数年間、低減に取り組んでいるが、まだ成果が出ていない状態が続いている。生徒や保護者との面談、協力体制を今まで以上に強化することを望む。

就職支援に関しては、個別面談や本校での就職ガイダンスの実施等により充実している。

また、経済的支援についても、納付金減免や納付方法の個別対応、奨学金等によりしっかり整備されている。

卒業生への対応については、連絡を取り合ったり、就職先の紹介、国家試験不合格者に対しての講習等を行い卒業後も支援体制が充実している。

今後も、引き続き生徒や卒業生に対する支援を強化してもらいたい。

募集活動については、高校でのガイダンスや外部の進学相談会において学校の情報や資格取得・就職状況について正確に伝えている。

納付金については、教職員で話し合いを重ね妥当なものとなっている。

募集活動や納付金について問題があったことはなく適正に行われていると評価できる。

④ 教育実施組織・教員

教員の資格や採用要件はしっかりと守られており問題はない。

各教員の仕事量に関しては年々増加傾向にあり業務の分担は今以上に必要と思われる。

教員の資質向上に向けての研修等は授業などの関係上、行われていないのが現状でありカリキュラムの見直し等をして徐々に進めていってほしい。

⑤ 教育環境

施設、設備については、授業に十分対応できるよう整備されているが経年劣化や老朽化に伴い修理等が必要となる箇所があり今後、計画的に改善を進めていただきたい。

実務実習については、実際に店に入った時の仕事内容や動きかたを指導している。

防災については、毎年防災訓練を実施して災害時の行動を確認し非常時でも対応できるように指導しているとの報告をうけた。

今後も引き続き安全対策を適切に行ってもらいたい。

⑥ 教育活動の基盤と改善・向上の取組

事業計画、情報公開、規程等、は適正な運営が行われており運営組織や意思決定についても職員が会議を重ね充実したものになっている。

今後も適正な学校運営を行ってもらいたい。

近年は、募集定員に近い人数が入学しており財務面も安定している。

会計監査や情報公開も適切に行われており問題はない。

今後とも、適正な学校運営を続けていただきたい。

社会貢献、地域貢献に関しては、夏休みのチャレンジスクール（小中学生対象の体験学習）の開催や高校生学習活動コンソーシアムに参加し教育機会の充実を図り、教育や産業に寄与している。また、近隣や河川敷の掃除を行い地域住民から好評を得ている。

総 括

自己評価、学校運営共に適正なものであり指導方法も生徒に寄り添った良いものになっている。

また、生徒の質も以前とは変わってきており柔軟な対応が求められる。

生徒対応も今まで以上に難しくなると思うが、より良い指導を行って頂きたい。

以上、全評価を終了したので、委員長より閉会宣言があり本会を閉会した。